

■面接対策 虎の巻

面接は企業側とあなたが直接顔をあわせる唯一の機会になります。

“百聞は一見にしかず”というように、企業の採用担当者があなたの一举一動に注目しています。この際、どこに気をつけなければよいのかを一覧にしましたので参考にいただき面接に望んでください。

※ここでは、インターネットで“面接 極意”など引いて出てくる一般的なことに関してはほとんど言及しません。社会一般常識を踏まえた上で、下記のことを必ず実行しましょう。

●面接時に気をつけるポイント

外見	清潔感はあるか、企業のカラーにあっているか？	
経歴・PR	今までの経歴で入社してから活かせるような経験はあるのか？ 今までの仕事で結果を残しているのか？ 転職理由が論理的であるか？ 時系列で内容を整理して話をすることができるのか？	
企業からの質問	年齢、転職回数など自分の弱みについての質問に対する回答は？	
企業への質問内容	会社について	企業の特徴、企業目標、売り上げの推移、過去の成功事例、etc
	仕事内容について	新規事業、求人目的、etc
	待遇について	給料について、キャリアプラン、etc
	社員について	今いる社員の人たちの前職は何か、平均勤続年数、etc
	社長について	社員から見た社長、etc

☆外見について

採用担当者は”どういふ外見の求職者”=”入社してほしい人物”と認識するのでしょうか？。

それは採用担当者の経験則や頭の中にある情報によって左右されるため、一概に言い切ることはできませんが”清潔感”を意識したファッションで面接に望みましょう。髪型、センス、文房具、出すタイミングまで全て、【あなたのベスト】と思える状態で戦場に臨みましょう！

☆経歴、自己 PR について

採用担当者から「学校を卒業してから今までの経歴を教えてくださいませんか？」といった質問は、比較的多くの企業でされます。

採用担当者はここであなたについて沢山の情報を得るので練習はしっかりしておきましょう。

☆企業からの質問について採用担当者からの質問には 2 種類あり、全ての求職者に行う”一般質問”とあなただけにする”個別質問”があります。一般質問に対しては当たり障りのない回答が出来るかもしれませんが、個別質問に対しては回答を準備しておかなければ変な間があいて空気が悪くなってしまうたり信頼性を欠く回答をしてしまう可能性があります。

特に二次面接で聞かれやすいので年齢、転職回数、年収、失業期間、職種の一貫性のなさ等、全ての自分の弱みに対する回答は事前に準備してから面接に望むようにしましょう。

☆質問について質問するまでにできる限り企業についてリサーチしましょう。

HP など公開していることについて質問するとマイナスポイントになりかねません。

HP で確認した内容について掘り下げて質問を行うと、会社に対して興味をもってもらっているという認識を与えることができます。

面接での質問で採用担当者との共通点を見つけ仲良くなることも重要です。

質問の時間は一問一答ではなく、会話となるように心がけましょう。

面接は慣れる以外にも、採用担当者からの質問内容をある程度想定できるようになる必要があります。

全ての面接で聞かれたことをピックアップし、次の面接に活かしましょう。

また、面接回数を重ねるごとによりよい回答が出来るように改善していきましょう。

転職成功プログラム

面接までくれば、書類審査のステージとは違い、「あなたが応募先企業の求める人物像に合致して(または近いと思わせて)いれば、採用したい！」と強く採用者は考えていますので、内定獲得までの可能性は確実に射程圏内です。

あとは、冷静に、職務経歴書に書き出した、“ブラッシュアップしたあなた”を演じきりましょう！！

もう、内定獲得は目の前です！

